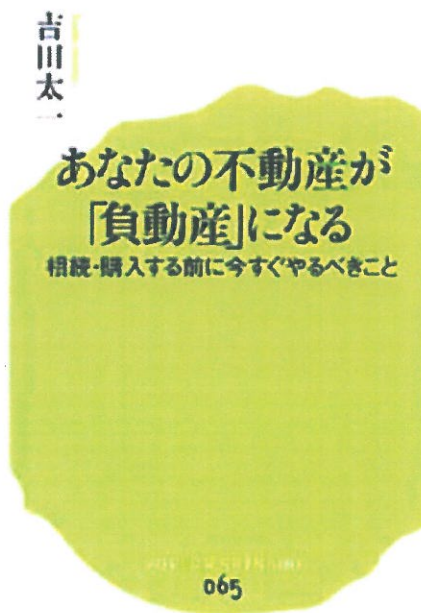




「あなたの不動産が『負動産』になる」 吉田太一著

本棚



遺品整理の会社を経営する著者は、親の遺品と一緒に、相続した不動産も処分したい人が増えていると指摘する。人口が減り、不動産の価格が下がる中、富を生むはずの不動産が、税金や管理費を支払うだけの「負の遺産」と化し、「負動産」ともいえる状況になっているからだという。

本書では、空き家問題や、土地と家に対する価値観の変化に触れながら、不動産の相続や購入の前に注意すべき点を紹介。不動産を負債にせず活用するにはどうしたらいいのか参考になる。(ポプラ新書・842円)